



菅原 遥人（すがはら はると） 大和田小 3年生

作品名：大きい1年生と小さな2年生

図 書：大きい1年生と小さな2年生

ぼくは、毎日学校が楽しいです。友だちの中には、ぼくよりせが高い子ひくい子たくさんいます。

この本にでてくる「まさや」は一年生でせがとても高いけどこわがりです。そのはんたいに「あきよ」と「まり子」は二年生でせがひくくても、通学路の暗い林を平気で通れたり、一年生のまさやと手をつないでくれるやさしい子です。

ぼくは今、三年生になり自分が一年生のころを思い出しました。「学校はどんな所かな。」「友だちはできるかな。」と楽しみだったのをおぼえています。

この本を読んで三つ心にのこった事があります。

一つ目は、三人でとりに行ったホタルブクロの花がつぶれてしまった後、一人でとりに行って、持ちきれないほどとった所です。ぼくは、知らない道はこわくて通れません。暗い所も苦手です。まさやは、ゆう気があると思いました。

二つ目は、まさやが一人で通学路を行けるようになった所です。一人で花をとりに行く事ができて強くなったんだなと思いました。

三つ目は、三人が行きたかった一本スギの森で、にじが出た所です。ぼくもカラフルなにじが大すきです。まさやも大すきだと思います。

さい後に、ぼくはまさやのように苦手な事や初めてちょうせんする事も、がんばってやろうと思いました。学校でも、学年がちがう子や、せの高さなどかんけいなく、みんなでなかよくしたいと思いました。